

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

平成27年5月26日

米子市議会議長様

会派名 蒼生会
代表者氏名 尾 沢 三 夫
提出者氏名 岩 崎 康 朗



下記のとおり報告します。

記

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参 加 者	岩崎康朗、門脇一男 ※田村議員、三嶋議員及び三穂野議員は、都合により不参加となった。
期 日	平成27年5月22日から 平成27年5月22日まで
〔概 要〕（年月日・場所・内容）	平成27年5月22日 島根県松江市 松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」の取り組みについて
〔所 感〕	別紙のとおり
経 費	旅費総額 972円

行政視察報告書

蒼生会 岩崎康朗

視察日時：平成 27 年 5 月 22 日 13:30～15:00

視察場所：松江市保健福祉総合センター内エスコ（発達・教育支援センター）

視察人員：(米子市議会子ども子育て推進議員連盟所属) 岩崎康朗、門脇一夫 計 2 名

視察内容報告：

松江市の特別支援教育、特に幼児教育（乳幼児健診・関係機関連携等）の状況について調査した。

はじめにセンターの小脇所長よりエスコの概要について説明を受け、その後、質疑応答、最後に所内施設見学をさせていただいた。

米子市でも発達障害児支援について、早期の気づきのために、5歳児検診の在り方検討会最終答申を受け、まもなく5歳児検診がスタートを切ることとなる。今後は先進市松江市のエスコのように、「教育・保健・福祉等と一体となった早期の気づきと相談支援体制整備の確立」が急がれる。

質疑応答では私の方から

- ① エスコの予算規模、国県補助の内容
- ② 5歳児検診の際、ドクターの態勢はどのようになっているのか

回答は

- ① 年間 8000 万円、ほとんどが人件費で国県の補助はなし。市長の公約により単市での政策的事業となっている。
- ② 小児科等のドクターにかなりご無理をいっている。現状はドクターの増員が必要

との回答を得た。

○今回の行政視察で特に印象に残った事柄

この取り組みは教育委員会の教職員が福祉保健部局に合流して初めて動き出した事業である。乳幼児から成人に至るまで、切れ目のない支援が必要であり、このセンターができる以前より 7 倍位の相談件数となった。潜在的な掘り起しに大きく寄与出来ている事業である。